

区社協事業のご案内

身近な障害児・者の外出支援 ボランティア講座

ガイドボランティアは、障害のある人の通学や通所、余暇外出の付き添いをする有償のボランティアです。障害児・者に関わるボランティアがしてみたい、人と関わるのが好き、何かボランティアを始めようとしている方、ぜひこの講座をきっかけに地域で活躍してみませんか？ 今回の講座は活動中のガイドボランティアの普段の活動を知っていただくことを目的に、実施します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

参加費：無料
 日時：3月15日(木)10:30～
 内容：ガイドボランティアの活動紹介
 場所：豊田地域ケアプラザ 多目的ホール
 申込：3月12日(月)までに電話でお申し込みください
 問合せ：045-894-8521

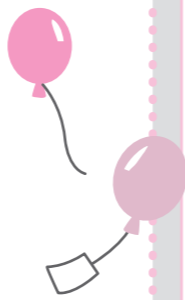


平成30年度 さかえ ふれあい助成金 日赤地域福祉活動助成金 説明会

さかえ ふれあい助成金と日赤地域福祉活動助成金は、区民同士の支え合い活動によるボランティア活動など、地域福祉保健に貢献する事業の支援を目的としています。募集にあたり、説明会を次のとおり開催します。
 日時：①平成30年3月15日(木)14:00～
 ②平成30年3月16日(金)10:00～
 (①、②とも、同一内容です)
 場所：ピアハッピー栄
 申込方法：団体名・参加者氏名・電話番号・希望日を明記の上、ハガキ・FAX・電話で、2月23日(金)までにお申し込みください。
 ※会場の都合上、各団体1名の参加をお願いします。
 ※助成金の申込みは、平成30年4月4日(水)～4月27日(金)です。
 申込みされる場合は、なるべく説明会にご参加ください。

第19回 ようこそ・であい広場

栄区福祉保健活動拠点を利用しているグループによるお祭りです。栄区内のボランティアグループ・当事者グループ・障害者施設等の活動PRや地域との交流を図るため開催します。
 日時：平成30年3月3日(土) 10:00～14:00
 場所：ピアハッピー栄
 内容：バザー (リサイクル品・手作り品) 食べ物いろいろ模擬店 パソコン体験コーナー スタンプラリー (景品もあるよ!) 子どもの遊びコーナー
 主催：ようこそ・であい広場 実行委員会



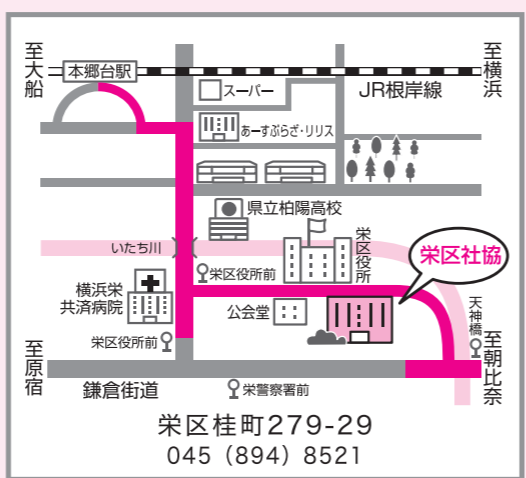
問合せ 申込先
 栄区社会福祉協議会 栄区桂町279-29
 TEL:045(894)8521
 FAX:045(892)8974

区社協ホームページでも事業紹介をしています。
 詳しくはコチラ
 栄区社協 検索

本誌は、区民の皆様から寄せられた共同募金の一部を用いて発行し、自治会・町内会のご協力で全世帯にお配りしています。

- 【栄区社会福祉協議会広報編集委員】
- 豊田(堀田 賢二) 笠間(田中 貞代)
 - 小菅(谷 浦井 秀治) 本郷(中央 長沼 勲)
 - 本郷(第三 池永 恵子) 本郷(第二 藤木 忠彦)
 - 上郷(西 藤木 トミ子) 野(菊 横尾 美南子)
 - 上郷(東 鈴木 アヤ子) たんぼ(大森 眞由美)

【編集後記】
 超高齢社会の昨今、些細な困りごとを抱え、地域のサポートを必要とする一人暮らしや夫婦だけの高齢者世帯が増えてきました。このような状況を見かけたとき、近隣同士の信頼関係があると、自分のできる範囲なら「お手伝いしましょうか」と気軽に声をかけられ、相手の方からも「ありがとうございます、よろしく願います」と応じてもらえます。栄区は、市内で町内会・自治会加入率が第一位といわれています。地域ごとの定例行事、サロン活動、ラジオ体操などの健康づくり運動、囲碁・将棋などの趣味の会等々、多くの人に参加してほしいメニューが数多く用意されていること、思わぬに高齢者の方も積極的に参加して顔見知りになり、身近なところから信頼関係を築いていくことが大切だと思っています。(二村)

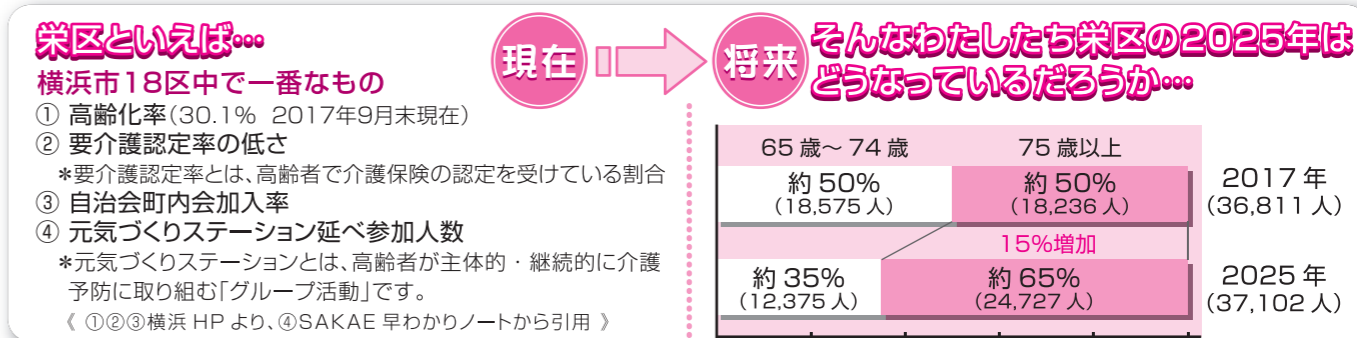


さかえ区社協だより

No.47

発行：社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会
 〒247-0005 横浜市栄区桂町279-29 ピアハッピー栄(栄区福祉保健活動拠点)内
 電話 045(894)8521 Fax 045(892)8974
 E-MAIL: office@sakaeku-shakyo.jp URL: http://www.sakaeku-shakyo.jp
 平成30年2月1日発行 承認：栄区連第126号

さあがたちにしてえんづくり



では、今のうちに何ができるかな...
 「健康でいること」
 「隣近所とのつながりづくり」
 「頼み頼まれ上手になる」
 「地域での支えあい活動などの仕組みづくり」
 これらの取り組みを支援するために、各地域ケアプラザと栄区社会福祉協議会に、生活支援コーディネーターが平成28年度から配置されています。

高齢者の3人に2人が後期高齢者
《横浜市将来人口推計(2012年推計)から引用》
 上のグラフのとおり、高齢者数は約300人増える程度ですが、後期高齢者数は約6,500人増えることが予測されています。元氣な高齢者が多いことが自慢の栄区! 数年先を見据えて、今からできることを一緒に考えていきましょう!

生活支援コーディネーターの役割とは...

- ① 地域情報の把握
 地域情報を集め、地域の強みや困りごとを把握します
 例: 地域活動の情報リストの作成、収集した情報から地域特性を分析
- ② 課題発見・解決、サービスの構築
 地域の皆さんと一緒に課題の発見から解決策を考えていきます
 例: サロンづくり、ボランティアグループの立ち上げ、ボランティア講座の実施
- ③ ネットワークづくり
 地域のボランティア団体同士のつながり、施設や企業を巻き込んだ地域とのつながりの場をつくり、さまざまな立場・職種の方たちと協力していきます
 例: ちょっとボランティア連絡会の開催、関係施設や職種との連携

高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる「まちづくり」を進めます

生活支援コーディネーターの取り組みの一部を、次のページで紹介していただきます。

区社協ホームページでも事業紹介をしています。詳しくはコチラ
 栄区社協 検索

視覚障害のある方にも広報紙の情報を提供できるように音声版をご用意しておりますので、ご希望の方は栄区社会福祉協議会までお問い合わせください。

地域ケアプラザの生活支援コーディネーターに取り組みの一部を紹介させていただきます!

小菅ヶ谷地域ケアプラザ

地域ケアプラザでは、シニアクラブや地域の方から「体操クラブやサロンをはじめたい」という相談を受けることがあります。

平成28年度、小山台にあるシニアクラブ「若葉会」の方々地域包括支援センターとの共催で介護予防教室を開催しました。

その後、「体操クラブ」としてシニアクラブの皆さんが自主的に活動するために、生活支援コーディネーターとして頻りに足を運びました。地域の特徴を活かした会となるように話し合いを重ねて、不安をひとつひとつ解決していきました。また、他の体操クラブの様子を伝えたり、補助金や活動保険の案内をしたり、当番が進行しやすいようにプログラムを記したシートを一緒に作成しました。

現在、ストレッチ・筋トレ・脳トレを中心に毎週開催しています。男性参加者が2割、新規の方も来られて、多い時には20名以上の参加者で会場は熱気に包まれます。

集える場所が増え、何かの形で地域とのつながりをもつ方がもっと多くなるよう、これからもお手伝いをさせていただきます。 (生活支援コーディネーター 相澤)



体操クラブ活動の様子

中野地域ケアプラザ

ちょっとした困りごとを抱えた人と手助けのできる人、その両者の思いを丁寧につなげるべく、平成28年6～7月に「生活支援サポーター養成連続講座」を開催しました。尾月にお住まいの方12名が出席し、町の魅力や課題を共有しながら、自分たちができることを話し合いました。話し合ったことを実現するために、生活支援コーディネーターとして、活動内容や料金設定等の提案、また、保険加入や助成金については区社協にご助言いただき、12名の方と共に奔走してきました。

そして同年10月にちょっとした困りごとのお手伝いをする「ちょいサポ尾月」が立ち上がりしました。

立ち上げから1年以上経った現在、ちょいサポ尾月は住民の皆さんに安心感をもたらす存在となっています。月1回の連絡会では活動報告のほか、暑気払いやクリスマス会を開催するなど、メンバー同士の交流も活発です。

将来、ちょいサポ尾月による住民向け講座、例えば尾月の歴史講座などが開催できれば、今以上に“つながり”が広がっていくのではと考えています。 (生活支援コーディネーター 佐藤)



クリスマス会の様子

相談はお近くの地域ケアプラザへ

誰もが住み慣れた街でいきいきと暮らすための身近な福祉・保健の相談窓口

- ① 豊田地域ケアプラザ TEL 864-5144
- ② 笠間地域ケアプラザ TEL 890-0800
- ③ 小菅ヶ谷地域ケアプラザ TEL 896-0471
- ④ 中野地域ケアプラザ TEL 896-0711
- ⑤ 桂台地域ケアプラザ TEL 897-1111
- ⑥ 野七里地域ケアプラザ TEL 890-5331

開館時間 月～土曜日 / 9:00～21:00
日曜・祝日 / 9:00～17:00

休館日 年末年始および施設点検日



第31回栄区社会福祉大会が開催されました

平成29年11月22日(水)第31回栄区社会福祉大会(主催:栄区社会福祉協議会、栄区内7地区社会福祉協議会)がたちーらんど(栄公会堂)で行われました。

第1部の式典では、次の皆さまが表彰されました。(敬称略・順不同)

【ボランティア活動功労】		【金品寄託功労】	【福祉団体自主活動功労】	
青木 勝伸	田邊 安造	上山 由美子	亀澤 弘(故人)	手代森 久枝
岡田 みつ子	長尾 武雄		木村 知恵子	中村 涼子
金子 和子	長嶋 孝子	北野 孝子	倉田 由木	村田 可代子
河野 和江	早川 知佐		大船ルーテル教会 教会学校	齊藤 操
小柳 富	早川 雅子	上郷西地区町ぐるみ健康づくり 委員会遊友ウォーク		
棚橋 秀機	宗村 八重子			
サロン絆	は～とほ～た～ず			

第2部の演奏会では、大庭照子さんをお招きし、親しみ深い童謡を歌っていただきました。大庭さんは、NHKみんなのうたで「小さな木の実」がヒットし、全国の小中学校、特別支援学校等延べ3,000校でスクールコンサートに出演するなど、日本が世界に誇れる音楽文化「童謡」を次の世代に継承するための活動に取り組んでおられます。

わ～くらぶ・さかえの皆さんとのコラボレーションプログラムでは、「ゆりかごの歌」と「里の秋」を一緒に歌い、会場も一体となるステージとなりました。



第1部 式典の様子



第2部 演奏会の様子

会員団体
活動
訪問記

「すぺーすもも」

地域活動支援センター「すぺーすもも」(柏陽高校グラウンド東側)は、平成8年に開設されました。「NPO法人絆」が運営する、心の病のある人たちの活動の場であり居場所です。「もも」とは、ドイツのミヒャエル・エンデの物語に登場する、人の話を聞くのが上手な女の子の名前にちなみ、もものように人の心を大切にしたいという想いから名付けられました。

現在の施設は、高い天井と南向きの大きな窓から明るい日差しが差し込む過ごし易い、木目の美しい部屋でした。

現在43名の利用者さんが登録されており、そのほとんどが栄区内在住の方です。利用者さんの体調や都合にもよりますが、毎日通所される方もあれば、週1回程度の方もあり平均すると1日15名程度が利用されています。

施設は職員(常勤2名、非常勤1名)の他、20名程度の地域ボランティアの皆さんの協力により運営しています。

10時から始まる朝のミーティングの後は利用者さんが各々役割分担し、買い物、清掃や昼食づくりをしています。午後は近隣団地の階段清掃の他に、月1回は建長寺での清掃作業、ヘナ(髪の毛を染める天然染料)の袋詰めの内職作業などを行います。また、毎週月曜日には栄区役所で、水曜日には近隣の団地内で野菜の販売を行っています。

訪問した日は水曜日で野菜販売の日に当たっており、同行させて頂きました。販売する野菜は、ボランティアさんが中心で小菅ヶ谷の農園で栽培し、その日に採ってきた新鮮なものです。お客様も心待ちにしていたようで、早々に完売致しました。販売を通して、地域の方々に溶け込んでいる様子が覗えました。

心の病のある人たちはどうしても引きこもりがちなる状況になりますが、規則正しい生活を送ること、多くの人に関わることで、違った世界が開けることの大切さが判りました。



ただ課題が無いわけではありません。三和施設長によると、利用者さんと同時にご家族の高齢化も進んでいることから、地域での受け皿(グループホーム、ショートステイ等)の必要性が切迫していること、またボランティアに参加して下さる方の減少も懸念されておられました。

施設では、昼食づくりや野菜販売をお手伝いして下さるボランティアの方を募集しています。関心のある方は、是非ご一報ください。(長沼 横尾)

連絡先 すぺーすもも 施設長 三和美和子 ☎ 045-892-7532